

## カンボジア各地での洪水による物流への影響

現在、カンボジアでは連日の豪雨やそれに伴う洪水により死者も発生しており、政府は台風の接近によるさらなる豪雨も予想されるとして警戒を呼び掛けています。本号では、物流への影響、及び注意喚起についてお伝えします。

### 1. 被害の概要と物流への影響

10月15日(木)現在、鉄砲水や家屋浸水により全国で13人が死亡、20万人近くが被災し、約4万8000の世帯が被害を受けています。また、被害エリアはバタンバン、バンテイミエンチェイなど北西部から、南はコンプンスプーやプレシアヌーク、ベトナム国境のスパイリエンなど全国に広がり、25州のうち19州に及び、プノンペンでも洪水が発生しています。

これにより、首都プノンペンと国内唯一の深海港であるシアヌークビル自治港(PAS)を結ぶ国道4号線など国道・州道は合

わせて344キロメートル相当、農村部の道路は計1,459キロメートル相当の被害が確認されています。

また、プノンペンを含む約80の製造工場に影響が及び、うち40か所で一時操業停止に追い込まれました。

カンボジア物流協会(CLA)のシン・チャンティ会長は、「首都と地方を結ぶ輸送がさらに1週間遅れた場合、生産ラインが大きな打撃を受ける恐れがある」との懸念を表明し、とりわけ、衣類や靴、農産物部門のダメージが大きいとの見方を示しています。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う生産態勢の制限により被害は限定されるとの見方もあり、国道4号線も大型車両から通行再開し、物流インフラの大規模な被害は現時点で確認されていませんが、家屋や財物など市民生活への影響は甚大であり、倉庫・貨物などへの被害も今後明らかになってくると思われます。



豪雨による洪水の様子 (AP/アフロ)

### 2. 今後の見通しと注意喚起

カンボジアは現在、雨期の末期にあたります。この時期にはまとまった雨が降ることが多いものの、今年は特に連日の豪雨に見舞われており、また、10月後半も台風の接近によるさらなる豪雨が予想されるため、引き続き十分な警戒が必要です。

#### 【グローバルネットワーク】

一連の豪雨や洪水に関わる事故が発生した場合は、下記サービスネットワーク、弊社コマーシャル損害部または営業課までご連絡いただきますようお願い致します。

EUROGAL SURVEYS (CAMBODIA) LTD.

Address NO. 168KA, ST.598, SANGKAT TOUL SANGKE, KHAN RUSSEY KEO, PHNOM PENH, CAMBODIA

Telephone +855-23-996-566 Fax +855-23-996-567 E-Mail Cambodia@eurogal-surveys.com



【出典】NNA <https://www.nna.jp/>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとなります。



マリンピックス バックナンバー